



エコネット通信

VOL.32



ホオノキの花。

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/>

フェイスブックでも情報発信中！

Morittoプロジェクト

Morittoモニターツアー・春編

1日目は又一の滝へ

5月18日(木)〜19日(金)に、オッホーの森をメイン会場に、1泊2日のキャンプ形式で、森の魅力を新たな価値として提案する「Morittoプロジェクト」のモニターツアーを実施しました。一般参加者は5名で、そこにスタッフ5名が加わり、総勢10名での開催。初めてのことで、スタッフも一参加者となりながらプログラムを進めました。初日は、馬留に移動し、マリコ・ヨガの真理子さん指導で準備運動を兼ねたヨガを。その後、又一の滝を目指して登山道を歩き始めます。途中、2人1組となり、ブラインドウォーク(目隠し歩き)をしました。強制的に視覚を塞ぐことで、その他の感覚が研ぎ澄まされて



ツアーの1日目は、馬留から又一の滝までの登山道を歩きました。途中でブラインドウォークを体験しました。

くのを実感できました。又一の滝で記念撮影をし、登山道を下山。オッホーの森へ戻り、テントを設営しキャンプの準備です。この日の夕飯は、「おのひづめ」シェフ菅田さんによる、焚き火や炭火で旬の山野草をふんだんに取り入れた野外料理をいただきました。夕食が終わる頃には夜も更けてきて、焚き火の灯りだけで、大出早池峰神楽の権現舞を奉納。初めて神楽を見たという女性は、「神楽の途中で、早池峰山の方向からスーッと冷たい風が吹いてきて、何か神が降りてきたように感じた。」と話していました。

その晩は、ドラム缶風呂も設置。最初は遠慮していた参加者も、結局全員ドラム缶風呂体験をして、その予想以上の解放感に驚きを隠せない様子でした。

夜明けと共にオッホーの森へ

2日目の朝は、鳥たちの声で目を覚まし、オッホーの森へ山を登っていきました。森の中で、真理子さんの指導で瞑想とヨガを。ヨガの後には、森の中でお湯を沸かし、天然酵母パンを焼いて、宮古市タイマグラから参加してくれた山代生さんのコーヒーをいただきました。このコーヒー豆は、昨晚に炭火で生さんが焙煎してくれたもので、なんとも贅沢な森の朝食となりました。

朝食後は、森の中で自分と向き合う時間

を。自分が気になる場所へ行き、そこで静かな森の時間を過ごしました。

その後山を降り、途中の杉林で杉の葉を拾いながら、ベースキャンプ地へ戻りました。お昼は焚き火で飯ごうのご飯づくりと、炭火で周辺で採った山菜の天ぷら料理をいただきます。昼食後は、クロージングプログラムとして、森のオブジェ作りをしました。テーマは「森と自分」。輪切りの木に、それぞれが森から拾ってきた材料を組み合わせて作品を作っていく。この2日間の森でのことを思い出しながらのオブジェづくり。最後に、作品に込めた想いを発表しました。

最後は焚き火を囲んで、それぞれに振り返りを発表。日常を離れ、時を森に委ねて過ごすことの豊かさを感じられた2日間となりました。モニターツアーは、夏、秋、冬にも実施予定。遠野の森を楽しみながら、参加者が自分と向き合う時間も大切にし、森と人のあり方を見直すきっかけとなるツアーづくりを進めていきます。スタッフも募集中です。



2日目の早朝に山を登り、森の中でヨガをしました。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」 4/8(土) 5/3(土)～4(日)

昨年度まで、小学生対象の「おひさまのねっこ」と幼児対象の「どんぐりのぼうし」を別日に開催してきていたのですが、参加者の家族の中に、幼児と小学生のどちらの子どもがいる家が多くあり、今年度は同日に開催することとなりました。

4月は10名の小学生と7名の幼児とその家族が参加し、大人スタッフ9名の他に「おひさまのねっこ」を卒業した中学生3名もスタッフとして活躍してくれました。この日の午前中は森探検。小学生は、いつものオッホーの森へ山を登って行きました。幼児グループは麓の森で、ゆっくり遊びました。午後は、みんな合同で、稲の種まきをしました。

5月は1泊2日のキャンプ形式で、17名の小学生、12名の幼児とその家族が参加しました。午前中は、森探検。小学生はオッホーの森へ出かけ、自由遊びの他、森の中で「モス&バット」というネイチャーゲームをしました。目隠しをしたバット(コウモリ)が、周囲のモス(蛾)を探すのですが、森の中には倒木や木々という障害物が多くあり、子ども達はゲームを楽しめたようでした。お昼を食べた後はテント設営。初めてのテント泊体験という子どもや大人もあり、ワクワク感が増してきます。その後は、ドラム缶風呂やカマドづくりをして、焚き木を拾い、夜ご飯となるカレーづくりをしました。夜は焚き火で歌を歌ったり、ナイトウォークに出かけたり。好天に恵まれ、爽やかな5月のステキな2日間でした。



4月の森のようちえんでは、中学生が幼児の遊びをお手伝い！



5月のデイキャンプで、森の中で「モス&バット」をしました。



ごみ川柳大会では、今年も大量のゴミを回収できました！

第10回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会 4/23(日)

平成18年から遠野市の下流に位置する田瀬湖畔にて当会が主催して始まった「ごみ川柳大会」。その後、下流に位置する花巻市と遠野市の関係団体で実行委員会が主催し当会が運営事務局を務め、「田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会」として今年で10回目を迎えました。長く継続しているイベントですが、ある程度はゴミが減ったとしても、未だに多くのゴミが散乱しています。今年の参加者は83名で670kgのゴミを拾いました。また、その後の川柳大会では、入賞した13名に協賛団体からの商品が授与されました。田瀬湖の環境は、その上流で暮らす遠野市民の生き様を映しています。ゴミがある限り、このイベントは継続します。皆様の参加をお待ちしています。



森楽倶楽部では、奥畑氏に森と人との関わり方も学びました。

森楽倶楽部 5/13(土)

今年度第1回目となる5月は春の森を楽しむがテーマ。講師は今年度から新たに、宮古市川井地区で「フィールドノート」という山小屋を経営し、「早池峰の自然を考える会」の代表でもある奥畑充幸氏です。この日の参加者は11名。薪の駅に集合後、薪の駅の近くにある当会で整備している実習林を歩いて自然観察をしました。また、お昼には、薪の駅周辺で採集した山菜を天ぷらにいただきました。



5月の間伐倶楽部では、1年ぶりの参加者。狙いとズレた!!

間伐倶楽部 4/22(土) 5/27(土)

4月の間伐倶楽部は5名で八幡地区の実習林にて間伐を、5月は6名が参加し薪の駅近くの実習林で間伐・造材の作業を行いました。間伐倶楽部では、その人のレベルに合わせて、講座修了生や当会のスタッフとマンツーマンで山の作業を学ぶことができます。継続しての山仕事講座への参加が難しい方も、お試しで参加も受付します。

活動報告（4月～5月）

水源の森づくりプロジェクト 5/15(月) 5/24(水)

遠野市の水源地である琴畑高原を森に再生するプロジェクト。平成16年から取り組み始め、今年で20年目となります。今年度も土淵小学校4年生13名とともに、岩手南部森林管理署遠野支署の協力をいただき、活動を開始しました。5月15日は、土淵小学校での事前学習会。管理署の職員が森林の大切さについてのお話。そして、当会代表千葉が、このプロジェクトの経緯や、これまでの活動について写真などを交えて紹介しました。

5月24日は、琴畑高原にて植樹。ドングリを拾って育てたミズナラの苗木20本を、笹の根が絡む固い土を、唐鍬やスコップで掘って植えました。その後、シカ防除用のチューブを被せ支柱に固定し、沢からバケツで水を汲んで苗木に水やりをしました。この苗木が大きくなる頃には、子ども達も大人になっています。いつか思い出して、成長の様子を見に来てくれたら良いなあと思いました。

山仕事はじめの一步(入門)講座 5/14(日)

安全に山仕事ができる人材を養成することを目的に始まった講座は、今年度で第12期目を迎えました。第1回目となるこの日は、12名が受講。午前中は薪の駅にて安全講習。テキストを見ながら、山に入る上での注意点や装備を確認。また、チェーンソーの構造などを学びました。その後は、外でチェーンソーの構えから、丸太の玉切りなどを実習しました。また、午後は、薪の駅近くの実習林へ移動し、スギ林にて森林の混み具合を調べる林分調査の方法を実習しました。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト

4/2(日) 5/7(日)

4月の薪づくりは11名が参加し薪づくりを行い、また「森の笠地蔵プロジェクト」として午前中に小友町の一人暮らし高齢者宅へ、午後に宮守町の高齢者宅に、それぞれ軽トラック2台分ずつの薪を無料で配達し、それぞれで煙突掃除もしてきました。5月の薪づくりは雨模様の中の開催となりましたが、シートを張る等して実施。新規の方2名を含めた11名が参加しました。また「森の笠地蔵プロジェクト」として小友町の高齢者宅を訪問し、小屋に貯めていた薪材を移動する作業をしてきました。

森業倶楽部 5/28(日)

薪にするのにはもったいない間伐材を、製材して木工作品をつくらう！と始まった森業倶楽部。今年度も上郷町の菊池光典氏を講師に、3月まで木工作品づくりに取り組みます。第1回目となったこの日の参加者は10名。最初に、昨年製材し乾燥させておいた板を運び出しながら、どんなものを作るか構想を膨らました。また、雨天の中でしたが、手鋸で1本dしたが間伐体験をしました。午後は、光典さんに木の特性について講習もしました。

森業倶楽部作品展 4/22(土)～30(日)

ショッピングセンターとびあ1階催事場で、昨年度参加者の作品を展示しました。中には、「販売しないのか？」という問合せもあるほどの好評をいただきました。来年は、どんな作品が並ぶのかな～？



今年も土淵小学校の4年生が、頑張って苗木を植えました。



5月の山仕事講座では、林分調査を行いました。



5月の薪づくり倶楽部は、雨の中シートを張って行いました。



5月の森業倶楽部では、光典氏に木材の特徴を学びました。



とびあで開催した森業倶楽部作品展の様子。

主な活動の予定（6月～7月）

月日	タイトル	内容	活動場所
6/2(金)	遠野エコネット第1回理事会	R4活動報告、R5活動計画他	遠野市役所会議室
6/3(土)	遠野・森のがっこうプレオープン	児童生徒、一般受入開始	オッホーの森
6/3,6/10(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
6/4(日)	薪づくり倶楽部	薪づくり他	薪の駅
6/8(木)	遠野エコネット定期総会	R4活動報告、R5活動計画他	遠野市役所会議室
6/10(土)	森林と市民を結ぶ全国の集い(代表千葉)	分科会でエコネットの活動紹介	国立オリンピック記念青少年総合センター
6/11(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	山仕事道具、チェーンソー実習他	松崎実習林他
6/17(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森探検、田植え体験他	オッホーの森他
6/17(土)	焚き火夜会2023夏	焚き火を囲んで語らい、音楽	オッホーの森
6/24(土)	森のがっこう・森歩きイベント	森歩き、焚き火でパンケーキ	オッホーの森
6/24(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
6/25(日)	森業倶楽部	ツル採集、ツル細工	薪の駅、貞任実習林
7/1(土)	森業倶楽部	夏の森の自然観察	松崎実習林
7/2(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
7/4(水)	水源の森づくりP育樹	水道施設見学、苗木周り草刈り他	水光園、琴畑遊々の森
7/8(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森探検、畑作業他	オッホーの森他
7/9(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	間伐、掛かり木処理実習	松崎実習林他
7/22(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
7/23(日)	森業倶楽部	木工、刃物の研ぎ方講習他	薪の駅
7/29(土)～30(日)	森フェス2023 in 遠野・夏	各種体験や講演、音楽、マルシェ他	薪の駅及び周辺の森

【編集後記】

エゾハルゼミが賑やかに鳴き始め、青空に新緑の森が美しく映える、爽やかな季節を迎えています。森歩きには、もってこいの季節です。

しかし一方で、各地でクマ出没の報道があります。遠野の古老は、昔はクマだけでなく、タヌキですら里で見かけることはなかったと話していました。どうして、野生動物が人里に降りてくるのか？里山に人手が入らなくなり、藪となることで、里と森の境界線がなくなったことが原因の一つと言われてます。クマと人の共存の道はある筈だと思います。(千葉)

発行：NPO法人遠野エコネット

令和5年6月8日発行

岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530

Tel&Fax 0198-64-2250

E-Mail: pahaya@tonotv.com



オッホーの森の家建設予定地周辺の藪を刈り払いして整備しています。

遠野・森のがっこう便り その1

日本財団の助成を受けて今年度から開始する「森のがっこう」の活動の様子をレポートします。

この事業では、森や田畑など野外で自然体験活動を展開する中で、天気の急変や厳寒期でも安全に過ごせる建物(仮称〇ッホーの森の家)を建設します。現在、建築に向けての図面が出来上がり、

工事業者の入札を行い、7月には着工予定となっています。順調に進むと、12月中に完成。1月に本オープンします。

建物が完成する前の6月から、「森のがっこう」はオープンし、この建物の建築についても、焼杉板づくりや壁塗り、また、ガーデンキッチンづくりなど、できるところは多くの人の手で、共に作って行きたいと考えています。

この事業の運営は、これまでの子ども達の自然体験をしてきたメンバーが、交代で参加者の受け入れをして行きます。本オープンに向けて、周辺の草刈りや、畑作業などお手伝いいただけるボランティアスタッフも募集中です。